

本プログラムの取組実施に関するアンケート調査

- アンケート調査は、平成19年度に採択され、3年間の補助事業期間を終えた教育プログラムを対象として実施した。
- アンケート調査では、取組の実施に当たり「特に効果的であり改善に資した事例」及び「取組を進めるに当たり困難であった事例」について、以下の選択項目から、それぞれの要素を含む項目を選択の上、具体的な内容について回答を求めた。

(選択項目)

A. コースワークの充実・強化
①人材養成目的に沿った科目構成の整理
②分野横断的な科目群、副専攻科目群等の充実
③国内外の大学との単位互換協定やダブル・ディグリー等による教育課程の充実
④社会人、留学生、他分野・他大学からの多様な大学院生に対応した基礎学力補完教育の実施やカリキュラムの提供
⑤他分野の大学院生との共同研究の実施
⑥その他
B. 円滑な学位授与の促進
①複数教員による多面的な指導体制の整備
②厳格な成績基準と評価基準の設定や学位授与プロセスの明確化
③論文作成支援の充実
④多様な学生に対する長期履修制度や早期修了制度の導入
⑤ポートフォリオ等を活用した到達度の把握と研究指導の充実
⑥その他
C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策
①FD体制の整備充実
②大学院生や教員相互のピアレビューでの授業評価による教育指導の改善
③教育効果・成果についての検証と教育プログラムを改善するシステムの構築
④その他
D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化
①国内外におけるインターンシップ・フィールドワークの充実
②産業界等、社会のニーズと大学院教育のマッチングを図るための企業等との教育連携
③キャリアパス形成を支援するための体制整備や、社会的・職業的自立に向けた情報提供
④その他
E. 学習・研究環境の改善
①TA・RA制度による修学上の支援
②国内外の学会発表、実習等に対する経済的支援の充実

③昼夜開講、休日開講などによる社会人学生等への履修上の配慮

④ICT 技術を利用した遠隔教育の推進

⑤その他

F. その他

①大学院生・研究者等の積極的な受入・派遣等

②国際シンポジウム等の開催

③積極的な情報提供体制の確立

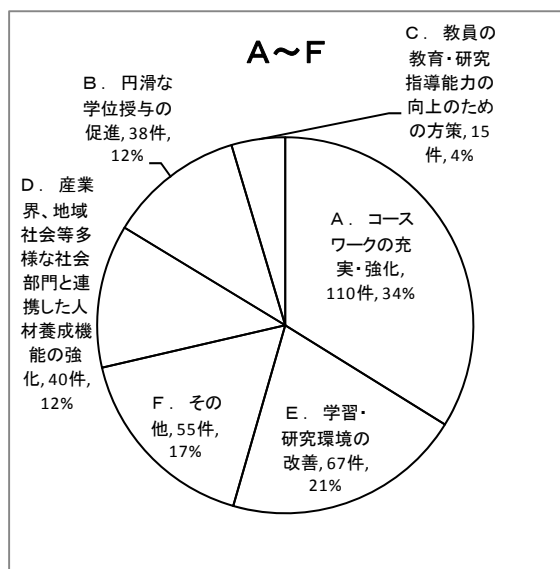
④その他

集計結果

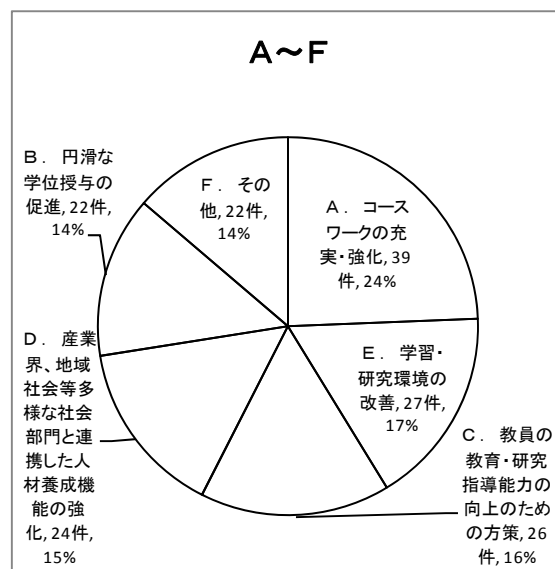
① 設問・大項目別回答数

項 目	特に効果的であり改善に資した事例	取組を進めるに当たり困難であった事例
A. コースワークの充実・強化	110	39
B. 円滑な学位授与の促進	38	22
C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策	15	26
D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化	40	24
E. 学習・研究環境の改善	67	27
F. その他	55	22
計	325	159

「特に効果的であり改善に資した事例」

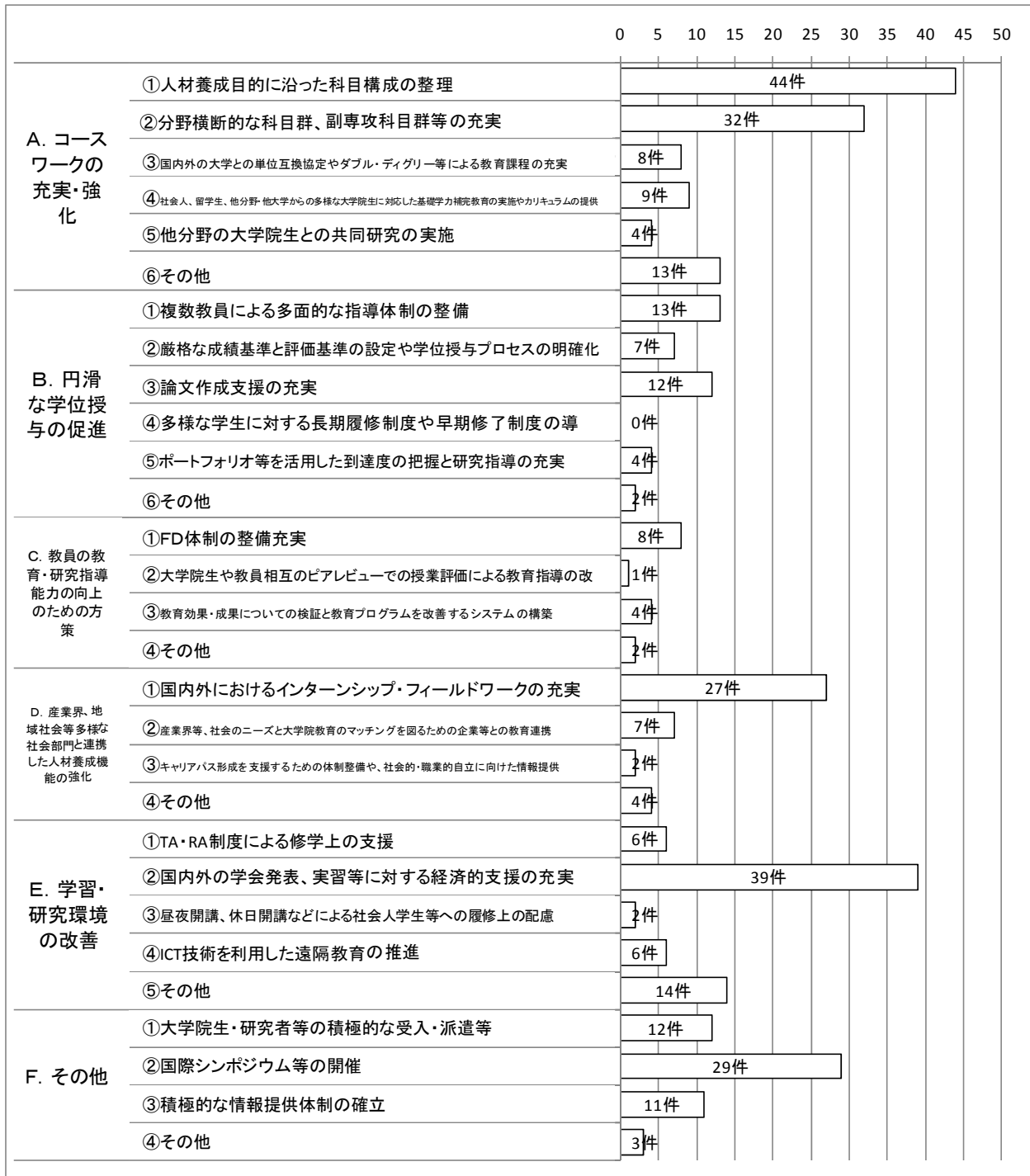


「取組を進めるに当たり困難であった事例」



② 設問・小項目別回答数

「特に効果的であり改善に資した事例」



「取組を進めるに当たり困難であった事例」

